

## 美濃西国三十三観音霊場総開帳 無事終了 皆様ありがとうございました



五月晴れに鯉のぼりが美しく映える頃となりました。  
先月6日から20日までの2週間、  
お寺では無事に観音様の御開帳を行うことが出来ました。

ご奉納いただいた観音様ののぼりは、  
期間中、大ヒノキの周りに立てさせていただきました。  
今後も少しずつ大切に使用させていただきます。  
ご奉納、ありがとうございました。

4月8・9日には、大智寺巡礼バスにて  
大智寺住職の先達のもと30名様にお参りいただきました。  
お寺によっては、長い石段を登る札所もあり  
お疲れになられたことと思いますが、  
最後大智寺にお帰りになられた時には、  
皆様達成感もあってか、とてもさわやかな笑顔でした。  
この度は、大智寺の巡礼ツアーにご参加いただき、  
ありがとうございました。



情報誌「咲楽」に取り上げていただき、話題になった  
豆乳ベースの無添加三色だんごは、  
期間中不定期でお寺に並びましたが、  
嬉しい誤算で、あっという間になくなりました。  
わざわざ足を運んでいただいた方々には、  
本当に心苦しい限りです。

NPO法人国際循環型社会システム総合研究所様の今後の企画に  
期待したいと思います。

これから4年後の総開帳までは、観音様を直接お参り頂くことはできませんが、  
各霊場を個人的に巡拝していただくことはできます。  
美濃西国三十三観音専用の納経帳や、札所の地図は、  
引続きお寺にご用意がありますので、ご希望の方はお声かけください。

この2週間、たくさんの方々にお参りいただいたこと、  
無事十一面観音様をお守りできたこと、お天気に恵まれたこと、  
心から感謝いたします。

## 大本山妙心寺 新亡団参 平成26年7月1日(火)

毎年行われる新亡団参の季節が近づいてきました。

平成26年度の新亡者は、  
平成25年4月～平成26年3月末までに亡くなられた方が  
対象となります。



今回は妙心寺での法要後、精進料理「阿じろ」の昼食をとり  
石庭や知足の蹲(つくばい)で有名な龍安寺を拝観します。  
新亡者のご家族の方々には、ご親族お友達とお誘い合わせの上  
ぜひお参りください。

参加費：お一人10,000円  
申込締切：5月31日



# 大智寺だより

平成26年 皐月  
Vol.51

発行所

## 大智寺

岐阜市山県北野  
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地  
の水小屋にてご自由にお取り  
いただけます。  
又、当寺ホームページにて  
過去の紙面をご覧いた  
だけます。ご活用ください。

4月号発行部数  
200部

ご愛読  
ありがとうございます



# 獅子庵落成式 5月11日(日)

大智寺の墓地の隣にある獅子庵では  
長らく工事をしていましたが、ようやく  
5月11日に再興落成式が開かれます。



獅子庵は、江戸時代末期の1843年以来、約170年ぶりに再建工事が行われ  
この2年ほどで、見違えるように新しくなりました。

白アリの被害が大きく、いつ倒れてもおかしくないと言われてきましたが  
天井の梁など一部に古材を再利用しつつ、土台からすべて頑丈に出来上がりました。

3月末に支考忌追善句会が獅子庵にて催されたのを皮切りに、  
すでに地域の俳句会の会場としても利用が始まっています。

江戸時代、全国から支考のもとに弟子が集まり、獅子庵に寝泊まりしながら  
俳句に親しんだ面影を今に伝えようと、

今後、庵の中で煮炊きできるかまどを設置したいとの声もあるようです。

また、今までよりも獅子庵を多くの方々にご活用いただけるよう、

定期的な一般公開や、句会への場所提供、俳句教室など  
積極的に活動していく構想もあるようです。

獅子庵は建物が新しくなっただけでなく、  
これからは、獅子門の方々の新鮮なアイデアが育まれる場となり、  
俳句のおもしろさを広める拠点になっていきそうです。

落成、おめでとうございます。



～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～  
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



## お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc わからないこと 質問帳 ①



「四十九日の法要で大きいお餅を切るって言うけど、何のことなんやろ？」

今は時代が移り変わり、餅切りの方法も変わってきているようですが、  
四十九日法要には、一升の丸餅を作り、お盆にのせ、仏前にお供えする風習があります。  
お経が終わると仏前から下げて、当主が敷居の上で、鍋の蓋にのせ丸餅を切り分けます。  
この時、丸餅を49個に切り分けるのですが、  
やわらかいお餅を切る際、生大根を切りながら包丁を使うと刃にお餅が付きにくいようです。

「すごく切りにくいから、あらかじめ切っておいてもいいの？」  
わざわざ切りにくい鍋の蓋の上で、丸餅を49個に切り分けるのは、  
故人との別れを少しでも遅らせたい、時間をかけて故人を引き留めたい、との家族の思いです。  
49に分けられたお餅は、亡き方の苦勞一つ一つと考え、丁寧に参列者に配ります。  
この時、鍋の蓋の上から取ってもらい、塩の小鉢を回して、つけて食べていただきます。

餅切りは、住んでいる地域や家庭ごとに、また時代によって少しずつやり方が異なります。

その昔は48個の小餅と一升で作った薄い傘餅をお供えしていたようです。

昔から餅・おはぎ・赤飯・五平餅など、もち米の料理が出る時は何かの始まりです。  
年始の餅、結婚式の赤飯、彼岸のおはぎ・・・初七日に五平餅を食べる地域もあります。

「こうしなければならない」と思うことなく、  
「四十九日には餅切りという風習があるんだな」と思っただけであれば幸いです。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から  
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課経典  
31 ページより

①

「もし人三世（さんぜ）一切の 仏を知らんと欲しなば」

大智寺では年忌法要に必ずお唱えしている、通称 菩提和讃（ぼだいわさん）。  
お経を和訳してあり、わかりやすいため、年忌法要のみならず日常の中でも親しんでいただけます。  
そんな菩提和讃を、これからご一緒に味わってみませんか？  
毎日の生活の中で、禅仏教の心を育み、豊かに暮らしていく糧としてお役に立てれば幸いです。

さて、「三世」という言葉は、お経の中のあちこちで見かけます。  
般若心経の「三世諸仏」、開甘露門の「三世一切仏」、普回向にも「十方三世一切諸仏」など  
この「三世」とは、過去・現在・未来の長い時空間を指します。  
この時空間は、とても人間の物差しでは計れないほどの長さです。



「もし人三世一切の 仏を知らんと欲しなば」  
もしもあなたが、途方もない時間の中の、一切すべての仏様を知りたいと思うなら  
さて、どうしたらいいのでしょうか。

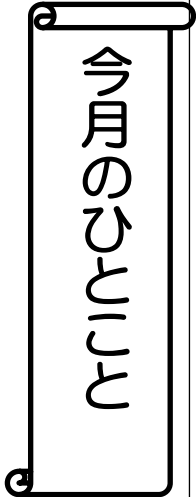
榎、桜、桃の花々が終わったなと思っているうちに、あっという間に境内は新緑に覆われました。頭上のモミジに若葉が広がる。石畳に現われる木洩れ日が初夏の訪れを教えてくれます。皆様、お変わりありませんか？

さて、今月はカーネーションの花がにぎやかに  
お店に並び母の日のを迎えます。「お母さん」と声に出すと、いくつになっても自分が子どもであることを再認識させられます。

思い出せば、楽しい時には笑顔を、悲しい時には泣き顔を、時にはイライラした顔、くすった顔、怒った顔、色々な顔をお母さんに見せてきました。どんな顔で「お母さん」と呼んでも、いつもと変わらない温かい返事が返ってきたものです。

子どもの顔と同じように、私たちの心は日々刻々と変わっていきます。「自分にとって都合よくあってほしい」「こうありたい」という心もとて欲求不満の心になったり、腹を立てたり、不安になったりします。でも一歩下がって冷静に見てみると、こんなにイライラしているのは、そもそも私が「こうあってほしい」という自己都合を優先させているからだと気づきます。

さわやかな5月の風は、何にこだわることなく無心で子を想う母のように、軽やかに鯉のぼりを泳がせます。自分の都合ではなく誰かのために、そんな心地よい風を生み出すことができれば、と青空を見上げる今日この頃です。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん さっくさくのスナップエンドウ

- ① スナップエンドウ10個は洗ってスジをとっておく。
- ② 小麦粉大さじ5、水50ccをよく混ぜ、スナップエンドウを入れる。
- ③ よーく衣をつけて、たっぷりの油でカリッと揚げる。
- ④ 塩を少し添えて、出来上がり。

スナップエンドウはサラダにしても和え物にしても、なんでもおいしい。歯ごたえがあって甘味もあるで、こんな揚げ物にもちょうどいいんやよ。スジは固いでちゃんととらなあかんよ。





## ～ うちの宗教って、どんなやつけ？ ～

### 第十六回：見性成仏（けんしょうじょうぶつ）

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



禅宗の初祖、達磨大師が世に広く掲げた禅のスローガン「不立文字」「教外別伝」「直指人心」「見性成仏」も今回で最後となりました。

「見性成仏」 言葉を分けてみると、「本性をはっきり見て、仏と成（な）る」と読めます。本性とは、自分の心の中の仏心を指しています。

達磨大師の一番弟子に慧可（えか）という名前の方がいます。慧可はいくら坐禅をしても、「本当に自分は悟りを得られるのか」と心が不安で、悩んでいました。とうとう師である達磨大師に、苦しい心境を告白します。

「今まで一心に修行してきましたが、まだ私の心は安らぎません」すると達磨大師は「では、その不安な心をここに持ってきなさい、お前を安心させてあげよう」皆様なら、何と答えられますか？

それから日夜、慧可は自分の不安な心を探し求め、つかもうとしました。そしてついに「心をさがしましたが、不可得」との答えに至り、喜怒哀楽に揺れる不安な心は、自分が勝手に作り上げているのだと悟りました。

「こうありがたい」「こうあってほしい」という自分勝手な思いこそが、仏心を曇らせ、心を不自由にします。本来自分の心は、形も何もない自由なもの気づくのが見性第一歩です。



## ♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

### 今月の日程

5月25日（日） 一回 500円  
（朝8時～9時） （内 300円は義援金）  
要申込

### 4月写経会 備忘録

山ざわに涼しげなシャガの花が咲き始め、気持ち良く晴れた4月の写経会。初めて参加して下さる方が7名お見えになり、新鮮な雰囲気となりました。それでもいつも参加して下さる方々の精神統一された空気の中、皆さん落ち着いて写経に取り組めた様子でした。朝早いのに遠方からおいでいただき、ありがとうございました。若い方にも興味を持っていただき、嬉しい限りです。

## 永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから、「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓  
1区画：38万円～  
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。